大阪の勞働爭議擴大
勞資階級戰の實現
關西勞働界大同團結の强味
刮目に値する今後の成行

大阪藤永田勞働爭議に關しては十日職工のため一斉に蜂起發展せんとする形勢を示して勞働者側は頗る意氣軒昂たるを見て勞働者側の結束の弱くなるのを見越して持久戰法を採り一方縫りに厳迫を加へてゐるが會社側が高壓すればする程勞働者側は益々團結し其結束は

▲急く鞏固に

未だ嘗て見ざる一致團結の態度で應戰に努め

▲戰々恟々たる有樣

▲到底協調の見込みなし

▲又勞働組合

▲千五百餘名

▲初志を貫徹

▲慘憺たる所野它

▲女工も先頭に練歩く

▲慘憺たる市中を練歩

▲騷擾職工の取調に着手

▲女工三百を先頭に

▲市中を練廻る

▲女工四百餘名も加り

▲市中を練る

▲同一行動

▲職工連絡

▲職工連絡

▲職工連絡